

定時制課程について

1 定時制課程とは

○学校教育法

第53条 高等学校には、全日制の課程のほか、定時制の課程を置くことができる。

2 高等学校には、定時制の課程のみを置くことができる。

第56条 高等学校の修業年限は、全日制の課程については、三年とし、定時制の課程及び通信制の課程については、三年以上とする。

2 第3期県立高校将来構想での記載

(1) 現状と課題について

≪【資料2】8～9ページ≫

第1章 高校教育を取り巻く現状と課題

2 高校教育を取り巻く現状と課題

(2) 県立高校の現状と課題

① 生徒の多様化

本県の中学校卒業生のほぼ全員が高校に進学する状況にあり、生徒の能力・適性、興味・関心、進路希望等は多様化しており、特に、定時制・通信制課程においては、不登校生徒や中途退学者への対応等、その抱える課題も多様かつ複雑なものとなっています。そのため、生徒一人一人に応じた教育課程を充実させるとともに、義務教育段階の学習が不十分な生徒や様々な障害があると思われる生徒、高い才能や個性を有する生徒等に対して、多様な支援を充実する必要があります。また、共生社会の形成に資するため、インクルーシブ教育システムの充実に向けた体制を整備する必要があります。

② 基礎学力や学習意欲の問題

本県の高校生の学力・学習状況については進路希望の実現に向けた意識は向上しているものの、基礎学力や思考力・表現力、学習意欲の面での課題が指摘されており、より学ぶ楽しさや学ぶ意義を実感させ、実感の伴った理解が得られる授業づくりが求められます。また、小・中学校での学習内容を十分に身に付けていない生徒も少なからず見られることなどから、学び直しへのニーズが高まっています。

定時制・通信制課程の高校では、従来からの勤労青年のための学びの場としての役割に留まらず、不登校生徒や中途退学者等の多様な学習ニーズへの受け皿として、学び直しの機会を提供する学校としての役割を増してきており、困難を抱える生徒の自立支援等の面で大きく期待されています。

④ 不登校生徒や中途退学者の状況

本県の高校における不登校出現率は2.45%（全国 1.51%）であり、その要因は「『無

気力』の傾向がある」が最も多くなっています。また、中途退学率は1.6%（全国1.3%）であり、その事由は「学校生活・学業不適応」が最も多く、次いで「進路変更」が多くなっています（平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省）」（宮城県分）より）。不登校出現率や中途退学率は全国平均値を上回る状況が続いており、これまで以上の対策が求められています。

そのため、高校と中学校・特別支援学校・地域の保健福祉部門等との連携を強化し、教育相談体制を拡充するとともに、生徒一人一人の自己肯定感の涵養や自己実現を積極的に支援していく体制づくりが必要です。加えて、定時制・通信制課程については、不登校経験者や中途退学者をはじめとする全日制課程からの転・編入学者など、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒が増加していることを踏まえた在り方を検討していく必要があります。

（2）今後の在り方

≪【資料2】20～22ページ≫

第4章 高校教育改革の取組

2 未来を拓く魅力ある学校づくり

（2）学びの多様化への対応

① 定時制課程・通信制課程の在り方

ア 定時制課程の在り方

平成30年4月現在、栗原地区を除く全ての地区に配置されており、このうち、午前、午後、夜間など複数の時間帯の課程があり、生徒が自分の生活スタイルに合わせて学ぶ時間を選ぶことのできる多部制の定時制高校（※）については、中部地区に2校（うち1校は仙台市立）、大崎地区、石巻地区にそれぞれ1校の計4校あります。

今後は、多様な生徒への対応を充実させるため、全県的なバランスを考慮した適正な配置を検討します。また、学年の区分がなく生徒それぞれのペースで学習を進めることのできる単位制の導入やICTの活用、転・編入学制度の柔軟化などを進めるとともに、相談体制の充実を図ります。

さらに、通信制課程との連携を図り、定時制課程に在籍する生徒が通信制課程の科目履修により単位を認定される定通併修制度を拡充することにより、生徒の学びやすい環境づくりに努めます。

なお、地域における学びのニーズに応えるため、科目履修制度等を活用した学習機会を提供し、生涯学習の場としての活用を推進するほか、夜間中学校や地域の関係機関との連携を図るなど、様々な学びのニーズに応える学校づくりも推進します。

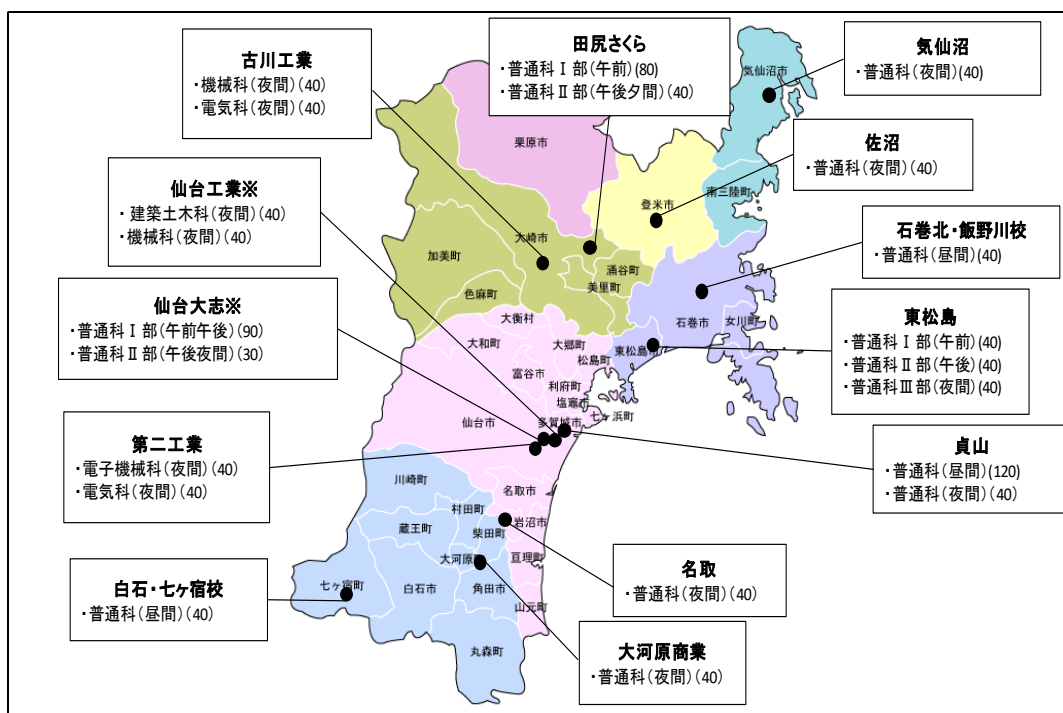
※本県の県立高校では貞山高校が昼間・夜間の2部制、田尻さくら高校が午前・午後夕間の2部制、東松島高校が午前・午後・夜間の3部制であり、仙台市立の仙台大志高校が午前午後・午後夜間の2部制である。

3 本県における定時制課程の配置状況（※は仙台市立）

(1) 配置状況

- 栗原地区を除く全ての地区に配置されている。
- 昼間の定時制課程は、南部地区と石巻地区に配置されており、いずれも全日制高校の分校である。
- 夜間の定時制課程は定時制課程があるいずれの地区にも配置されており、第二工業を除き、全日制課程に併設されている。また、中部地区と大崎地区には工業科が設置されている。
- 多部制の定時制高校は中部地区、大崎地区、石巻地区に配置されている。

		南部地区	中部地区	大崎地区	栗原地区	登米地区	石巻地区	気仙沼・本吉地区
定時制	昼間	白石・七ヶ宿校					石巻北・飯野川校	
	夜間	大河原商業	第二工業 名取 仙台工業※	古川工業		佐沼		気仙沼
	多部制		貞山 仙台大志※	田尻さくら			東松島	



4 各種データ

以下の項目について、別添の資料のとおりまとめた。

- (1) 中学校卒業生数見込み
- (2) 中学校卒業生の進路
- (3) 地区別の県内公立定時制課程への進学状況

- (4) 各校の在籍者数
- (5) 定時制課程在籍生徒の出身中学校所在市町村
- (6) 不登校経験者数，中途退学者数
- (7) 就労の状況
- (8) 進路状況
- (9) 各校の特徴的な取組等

《概観》

(1)～(3)について

- 県内の中学校卒業生数は、今後10年間（平成31年3月卒業生→令和11年3月卒業生）で約2,000人減少すると見込まれている。
- 直近5年間の県内中学校卒業生の進路を見ると、定時制課程への進学率は2.0%前後で推移している。
- 地区別の県内公立定時制課程への進学状況を見ると、定時制課程がない栗原地区は県平均の2.1%を大きく下回り、一方で石巻地区は県平均を大きく上回っている。
- 中学校卒業生数の減少に伴い、定時制課程進学者数も減少すると見込まれる。

(4), (5)について

- 夜間定時制は定員に対する在籍者数の割合が低い。また多部制については、時間帯が早い部で定員に対する在籍者数の割合が高くなる傾向にある。
- 単位制で三修制（3年間で卒業に必要な単位を取得し卒業すること）を導入している学校では、3年次の在籍者数と4年次の在籍者数との間に開きがあり、三修制を活用している生徒が一定数いることが推察される。
- 在籍者数のうち、学校が所在する市町からの入学者が占める割合が高く、他地区からの入学者の割合は低い。

(6)について

- 在籍者数の約5割が中学校時代に不登校を経験しており、割合に関しては、昼間、夜間、多部制の違いによる差異はない。
- 中途退学者の割合は、夜間定時制で他よりも高くなっている。

(7)について

- 在籍生徒の就労状況について、県全体では4割弱の生徒が就労しており、夜間定時制でその割合が高くなっている。
- 雇用形態としてはパート・アルバイト、職種としてはサービス業がそのほとんどを占める。

(8)について

- 定時制課程における進路は就職が大きな割合を占めており、大学進学については、多部制で多くなっている。

1 中学校卒業生数見込み(「第3期県立高校将来構想」から)

	H30.3卒	H31.3卒	H32.3卒	H33.3卒	H34.3卒	H35.3卒	H36.3卒	H37.3卒	H38.3卒	H39.3卒	H40.3卒	H41.3卒	H42.3卒	H43.3卒	H44.3卒	H45.3卒
南部地区	1,562	1,489	1,432	1,357	1,379	1,517	1,395	1,349	1,231	1,248	1,179	1,199	1,126	1,132	1,054	977
中部地区	13,740	13,846	13,216	12,930	13,449	13,484	13,536	13,324	13,343	12,953	13,410	13,124	13,073	13,035	12,434	12,236
大崎地区	1,917	1,862	1,841	1,772	1,801	1,779	1,686	1,678	1,649	1,593	1,621	1,580	1,453	1,543	1,414	1,312
栗原地区	564	543	522	481	499	501	468	434	457	461	428	411	373	375	344	329
登米地区	740	717	707	631	651	648	621	622	620	561	609	553	552	526	501	489
石巻地区	1,780	1,673	1,617	1,487	1,506	1,539	1,445	1,417	1,373	1,346	1,389	1,378	1,331	1,374	1,159	1,179
気仙沼・本吉地区	695	643	631	553	545	546	518	473	500	443	445	452	467	406	437	392
県全体	20,998	20,773	19,966	19,211	19,830	20,014	19,669	19,297	19,173	18,605	19,081	18,697	18,375	18,391	17,343	16,914

注)H30.3は実数, H31.3以降は推計値, 中等教育学校(前期課程)修了者を含む。

2 中学校卒業生の進路(教育企画室調べ)

年	データ	全日制	定時制	通信制	中等教育	高専	支援学校	他	合計
H27	進学者数	20,007	516	346	167	276	265	175	21,752
	割合	92.0%	2.4%	1.6%	0.8%	1.3%	1.2%	0.8%	100.0%
H28	進学者数	20,067	437	353	152	265	268	168	21,710
	割合	92.4%	2.0%	1.6%	0.7%	1.2%	1.2%	0.8%	100.0%
H29	進学者数	19,762	430	446	164	272	324	178	21,576
	割合	91.6%	2.0%	2.1%	0.8%	1.3%	1.5%	0.8%	100.0%
H30	進学者数	19,310	394	441	135	276	287	155	20,998
	割合	92.0%	1.9%	2.1%	0.6%	1.3%	1.4%	0.7%	100.0%
H31	進学者数	18,857	449	562	133	278	303	183	20,765
	割合	90.8%	2.2%	2.7%	0.6%	1.3%	1.5%	0.9%	100.0%
合計	進学者数	98,007	2,226	2,148	751	1,367	1,447	859	106,805
	割合	91.8%	2.1%	2.0%	0.7%	1.3%	1.4%	0.8%	100.0%

3 地区別 県内公立定時制課程への進学状況(教育企画室調べ)

地区	県内公立定時制					中卒者数					割合				
	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31
南部地区	24	30	34	33	30	1,593	1,589	1,615	1,481	1,562	1.5%	1.9%	2.1%	2.1%	2.0%
中部地区	290	248	227	205	263	14,225	14,264	14,085	13,847	13,740	2.0%	1.7%	1.6%	1.5%	1.9%
大崎地区	46	40	35	33	40	1,876	1,989	1,953	1,864	1,917	2.5%	2.0%	1.8%	1.7%	2.1%
栗原地区	15	7	17	8	6	614	570	597	543	564	2.4%	1.2%	2.8%	1.4%	1.1%
登米地区	18	17	25	17	18	754	771	756	717	740	2.4%	2.2%	3.3%	2.3%	2.5%
石巻地区	113	85	83	83	73	1,932	1,798	1,853	1,672	1,780	5.8%	4.7%	4.5%	4.7%	4.4%
気仙沼・本吉地区	7	8	6	11	15	758	729	717	641	695	0.9%	1.1%	0.8%	1.6%	2.3%
全県	513	435	427	390	445	21,752	21,710	21,576	20,765	20,998	2.4%	2.0%	2.0%	1.9%	2.1%

4 各校の在籍者数(学校要覧から)

地区	学校名	種別	学科・部	定員 (①)	在籍者数(②)					②/①					単位制	三修制
					1学年	2学年	3学年	4学年	合計	1学年	2学年	3学年	4学年	合計		
南部	白石・七ヶ宿	昼間	普通科	40	15	9	20	0	44	37.5%	22.5%	50.0%	0.0%	27.5%		○
	大河原商業	夜間	普通科	40	14	20	9	7	50	35.0%	50.0%	22.5%	17.5%	31.2%		
中部	名取	夜間	普通科	40	16	14	12	7	49	40.0%	35.0%	30.0%	17.5%	30.6%		
			電子機械科	40	7	5	10	7	29	17.5%	12.5%	25.0%	17.5%	18.1%		
			電気科	40	4	4	6	8	22	10.0%	10.0%	15.0%	20.0%	13.7%		
		学校計		80	11	9	16	15	51	13.7%	11.2%	20.0%	18.7%	15.9%		
	貞山	多部制	普通科・昼間部	120	100	66	60	22	248	83.3%	55.0%	50.0%	18.3%	51.6%	○	○
			普通科・夜間部	40	18	7	6	8	39	45.0%	17.5%	15.0%	20.0%	24.3%		
			学校計	160	118	73	66	30	287	73.7%	45.6%	41.2%	18.7%	44.8%		
	仙台工業※	夜間	建築土木科	40	8	6	11	9	34	20.0%	15.0%	27.5%	22.5%	21.2%		
			機械科	40	11	6	8	11	36	27.5%	15.0%	20.0%	27.5%	22.5%		
			学校計	80	19	12	19	20	70	23.7%	15.0%	23.7%	25.0%	21.8%		
	仙台大志※	多部制	普通科・I部(午前午後)	90	90	76	60	21	247	100.0%	84.4%	66.6%	23.3%	68.6%	○	○
普通科・II部(午後夜間)			30	29	13	15	14	71	96.6%	43.3%	50.0%	46.6%	59.1%			
学校計			120	119	89	75	35	318	99.1%	74.1%	62.5%	29.1%	66.2%			
大崎	古川工業	夜間	機械科	40	5	3	3	7	18	12.5%	7.5%	7.5%	17.5%	11.2%		
			電気科	40	5	10	3	2	20	12.5%	25.0%	7.5%	5.0%	12.5%		
			学校計	80	10	13	6	9	38	12.5%	16.2%	7.5%	11.2%	11.8%		
	田尻さくら	多部制	普通科・I部(午前)	80	46	32	32	8	118	57.5%	40.0%	40.0%	10.0%	36.8%	○	○
			普通科・II部(午後夕間)	40	5	5	9	3	22	12.5%	12.5%	22.5%	7.5%	13.7%		
			学校計	120	51	37	41	11	140	42.5%	30.8%	34.1%	9.1%	29.1%		
登米	佐沼	夜間	普通科	40	8	11	9	8	36	20.0%	27.5%	22.5%	20.0%	22.5%		○
石巻	石巻北・飯野川	昼間	普通科	40	29	23	23	3	78	72.5%	57.5%	57.5%	7.5%	48.7%	○	○
	東松島	多部制	普通科・I部(午前)	40	25	34	27	9	95	62.5%	85.0%	67.5%	22.5%	59.3%	○	○
			普通科・II部(午後)	40	19	23	19	12	73	47.5%	57.5%	47.5%	30.0%	45.6%		
			普通科・III部(夜間)	40	10	9	9	10	38	25.0%	22.5%	22.5%	25.0%	23.7%		
	学校計	120	54	66	55	31	206	45.0%	55.0%	45.8%	25.8%	42.9%				
気仙沼・本吉	気仙沼	夜間	普通科	40	16	13	4	4	37	40.0%	32.5%	10.0%	10.0%	23.1%		○
定時制合計				1,000	480	389	355	180	1404	48.0%	38.9%	35.5%	18.0%	35.1%		

5 定時制高校在籍生徒の出身中学所在地(学校要覧から)

白石・七ヶ宿				大河原商業				名取				第二工業				真山				古川工業			
南部	白石市	25	56.8%	南部	大河原町	15	30.0%	中部	岩沼市	22	44.9%	中部	仙台市	45	88.2%	中部	仙台市	108	37.6%	大崎	大崎市	33	86.8%
南部	柴田町	5	11.4%	南部	柴田町	14	28.0%	中部	亶理町	11	22.4%	中部	名取市	4	7.8%	中部	塩竈市	66	23.0%	大崎	加美町	2	5.3%
南部	角田市	4	9.1%	南部	角田市	10	20.0%	中部	仙台市	6	12.2%	中部	富谷市	1	2.0%	中部	多賀城市	57	19.9%	登米	登米市	2	5.3%
南部	七ヶ宿町	3	6.8%	南部	白石市	3	6.0%	中部	山元町	3	6.1%	中部	亶理郡	1	2.0%	中部	七ヶ浜町	25	8.7%	栗原	栗原市	1	2.6%
南部	村田町	3	6.8%	南部	村田町	1	2.0%	中部	名取市	3	6.1%	合計		51	100.0%	中部	利府町	14	4.9%	合計		38	100.0%
南部	丸森町	2	4.5%	南部	丸森町	1	2.0%	南部	柴田町	2	4.1%	中部	富谷市	5	1.7%	中部	石巻市	2	0.7%				
南部	蔵王町	1	2.3%	南部	川崎町	1	2.0%	中部	塩竈市	1	2.0%	中部	石巻市	2	0.7%	中部	松島町	1	0.3%				
南部	大河原町	1	2.3%	中部	仙台市	1	2.0%	気仙沼	気仙沼市	1	2.0%	中部	大郷町	1	0.3%	中部	大和町	1	0.3%				
合計		44	100.0%	中部	塩竈市	1	2.0%	合計		49	100.0%	中部	名取市	1	0.3%	中部	亶理町	1	0.3%				
				中部	亶理町	1	2.0%					南部	角田市	1	0.3%	南部	角田市	1	0.3%				
				県外		2	4.0%					大崎	大崎市	1	0.3%	大崎	大崎市	1	0.3%				
				合計		50	100.0%					石巻	東松島市	1	0.3%	石巻	東松島市	1	0.3%				
												県外		2	0.7%	県外		2	0.7%				
												合計		287	100.0%	合計		287	100.0%				

田尻さくら				東松島				佐沼				石巻北・飯野川				気仙沼				仙台大志			
大崎	大崎市	43	30.7%	石巻	石巻市	102	49.5%	登米	登米市	31	86.1%	石巻	石巻市	70	89.7%	気仙沼	気仙沼市	35	94.6%	中部	仙台市	287	90.3%
登米	登米市	30	21.4%	石巻	東松島市	76	36.9%	その他		5	13.9%	石巻	東松島市	3	3.8%	県内		1	2.7%	中部	名取市	7	2.2%
栗原	栗原市	24	17.1%	中部	松島町	6	2.9%	合計		36	100.0%	気仙沼	南三陸町	4	5.1%	県外		1	2.7%	中部	塩竈市	4	1.3%
大崎	美里町	14	10.0%	中部	塩竈市	3	1.5%					中部	仙台市	1	1.3%	合計		37	100.0%	中部	利府町	2	0.6%
大崎	涌谷町	12	8.6%	中部	多賀城市	3	1.5%					合計		78	100.0%					気仙沼	気仙沼市	2	0.6%
大崎	加美町	9	6.4%	中部	大郷町	3	1.5%									中部	多賀城市	1	0.3%				
中部	多賀城市	2	1.4%	中部	仙台市	2	1.0%									中部	大和町	1	0.3%				
石巻	石巻市	2	1.4%	登米	登米市	2	1.0%									中部	亶理町	1	0.3%				
中部	山元町	1	0.7%	大崎	大崎市	1	0.5%									中部	岩沼市	1	0.3%				
中部	七ヶ浜町	1	0.7%	大崎	涌谷町	1	0.5%									南部	柴田町	1	0.3%				
中部	塩竈市	1	0.7%	栗原	栗原市	1	0.5%									南部	川崎町	1	0.3%				
気仙沼	気仙沼市	1	0.7%	石巻	女川町	1	0.5%									南部	七ヶ宿町	1	0.3%				
合計		140	100.0%	県外他		5	2.4%									栗原	栗原市	1	0.3%				
				合計		206	100.0%									石巻	東松島市	1	0.3%				
																県外・国外		7	2.2%				
																合計		318	100.0%				

仙台工業			
中部	仙台市	60	85.7%
中部	多賀城市	3	4.3%
中部	富谷市	2	2.9%
中部	黒川郡	3	4.3%
中部	亶理郡	1	1.4%
中部	宮城郡	1	1.4%
合計		70	100.0%

6 不登校経験者数, 中途退学者数

種別	学校数	在籍生徒数	不登校経験	他校中途退学
昼間	2	122	58	1
夜間	6	261	144	20
多部制	3	633	312	28
合計	11	1,016	514	49

7 在籍生徒の就労状況について(教育企画室調べ)

雇用形態等	産業別	昼間	夜間	多部制	県全体
正規雇用 非正規雇用のうち契約社員等	1次産業	0	0	0	0
	2次産業	0	1	0	1
	3次産業	0	3	0	3
パート・アルバイト	1次産業	0	0	0	0
	2次産業	2	12	1	15
	3次産業	31	141	169	341
その他(自営業等)	—	0	4	0	4
合計		33	161	170	364
在籍者数		122	261	633	1,016
割合		27.0%	61.7%	26.9%	35.8%

8 進路(学校要覧から)

学校名	進路	H28	H29	H30	学校名	進路	H28	H29	H30	学校名	進路	H28	H29	H30
白石・七ヶ宿	大学	0	0	0	大河原商業	大学	0	0	1	名取	大学	0	0	0
	短期大学	0	0	0		短期大学	0	0	0		短期大学	0	0	0
	専門・各種学校	0	0	4		専門・各種学校	0	0	2		専門・各種学校	2	5	3
	就職	7	12	12		就職	6	5	7		就職	11	5	7
	その他	3	2	3		その他	3	2	3		その他	7	4	4
	合計	10	14	19		合計	9	7	13		合計	20	14	14

学校名	進路	H28	H29	H30	学校名	進路	H28	H29	H30	学校名	進路	H28	H29	H30
第二工業	大学	0	1	0	貞山	大学	4	5	7	古川工業	大学	0	0	0
	短期大学	0	0	0		短期大学	0	1	0		短期大学	0	0	0
	専門・各種学校	2	1	2		専門・各種学校	15	11	13		専門・各種学校	1	0	0
	就職	10	11	8		就職	47	31	38		就職	3	5	10
	その他	0	1	2		その他	14	19	19		その他	2	0	0
	合計	12	14	12		合計	80	67	77		合計	6	5	10

学校名	進路	H28	H29	H30	学校名	進路	H28	H29	H30	学校名	進路	H28	H29	H30
田尻さくら	大学	4	2	4	佐沼	大学	0	0	0	石巻北・飯野川	大学	0	2	1
	短期大学	0	0	0		短期大学	0	0	0		短期大学	0	0	0
	専門・各種学校	5	6	5		専門・各種学校	0	2	0		専門・各種学校	6	7	5
	就職	23	29	23		就職	1	7	4		就職	13	9	19
	その他	5	5	5		その他	3	1	1		その他	4	3	1
	合計	37	42	37		合計	4	10	5		合計	23	21	26

学校名	進路	H28	H29	H30	学校名	進路	H28	H29	H30
東松島	大学	3	5	5	気仙沼	大学	1	0	1
	短期大学	2	1	0		短期大学	0	0	0
	専門・各種学校	11	11	9		専門・各種学校	3	3	1
	就職	22	27	26		就職	2	1	1
	その他	10	10	16		その他	5	3	2
	合計	48	54	56		合計	11	7	5

学校名	進路	H28	H29	H30	学校名	進路	H28	H29	H30
仙台工業	大学	0	0	1	仙台大志	大学	4	3	5
	短期大学	0	0	0		短期大学	3	1	1
	専門・各種学校	0	3	2		専門・各種学校	10	8	17
	就職	11	18	23		就職	38	33	24
	その他	0	1	0		その他	9	21	23
	合計	11	22	26		合計	64	66	70

9 各校の特徴的な取り組み

学校名	特徴, 取組
白石・七ヶ宿	<p>①学校行事で一人一人の生徒の役割を決め、達成感や自己肯定感・自己有用感を高め、自律して社会に貢献できる生徒の育成を目指している。</p> <p>②習熟度別授業の展開により、生徒一人一人に自信を持たせ、中学校までの負の経験を、プラス指向に置き換え、確実な成長を感じられるよう指導している。</p> <p>③部活動ではあえて団体種目(野球・サッカー)に挑戦しチームプレーの大切さや個人の役割など明確に指導している。</p>
石巻北・飯野川	<p>①美田園高校との定通併修を実施しているが、飯野川校教員が美田園高校との兼務発令を受け、スクーリング・考査を飯野川校で実施し生徒の負担軽減を図っている。</p> <p>②学校設定教科「職業訓練」で、学校農園での共同作業、石巻専修大学での講義受講、夏季休業期間中には、石巻高等技術専門校での体験学習、インターンシップ、技能講習(ガス溶接、アーク溶接)を実施している。</p> <p>③学校設定教科「社会活動」・学校設定科目「ボランティア・奉仕活動」を実施している。</p>
大河原商業	<p>大学進学等を志望している生徒に対しては、個別指導として、始業前の時間(始業は17時30分)や放課後の時間を利用して、補習指導を実施している。</p>
名取	<p>仕事について働くことを積極的に勧めており、社会に出て多くのことを学びながら、学業との両立を支援していく体制をとっている。また、完全給食制による食育の充実も図っている。</p>
第二工業	<p>①工業人として必要な知識・技術や技能を身に付けられるよう体験的・実践的な科目をより多く設定している。</p> <p>②電気科は経済産業省から第二種電気工事士養成施設及び第三種電気主任技術者認定校の指定を受けており、これらの資格認定を考慮した教育課程を編成している。 (「公立高校ガイドブック」から)</p>
古川工業	<p>確かな学力の育成を目的に、多様な生徒への学び直しを実施している。この時間は、始業前に設定し、キャリアタイムと呼び、基礎知識の定着を中心に、資格取得や進路指導にも活用している。</p>
佐沼	<p>学校設定科目「基礎数学」を設定し、中学校の学習内容の学び直しに取り組んでいる。</p>
気仙沼	<p>学び直しの積極的な導入や授業のユニバーサルデザイン化など、「わかる授業作り」をテーマに、授業の工夫に努めている。また、配慮が必要な生徒に対しては、職員等で情報共有会やケース会議を行うなど、対応を充実させている。</p>

学校名	特徴, 取組
貞山	<p>①教科・科目の選択幅が広いため進学就職各種の資格取得等多様な要望に対応できる教育課程となっている。</p> <p>②半年ごとに単位の修得が認定される科目もあり, 卒業式は9月と3月の2回行われる。 (「公立高校ガイドブック」から)</p>
田尻さくら	<p>①科目履修制度で, 社会人が聴講生として本校が指定する科目の中から希望する科目を選択し, 高校生と同じ教室で授業を受けおり, 異世代間交流の場ともなっている。</p> <p>②学校設定科目として, 主に以下のようなものを設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○声とからだのレッスン: 表現する喜び, 他者と協働する楽しさを実感させ, コミュニケーション能力, 表現力, 創造性を育成する。 ○イラスト表現: イラストレーションの専門的な表現と鑑賞の学習活動を通して, 専門的な技術を学び, 個性豊かに表現する力を身に付ける。 ○日本語: 日本語を母国語としない生徒が, 学校生活を円滑に送る上で必要な日本語能力を育成する。 ○奉仕活動: コミュニケーション能力を高め, 自己肯定感を充実させる。また, 倫理的思考や道徳的実践力を養い, 集団や社会の一員としての社会性を身に付ける。 <p>③その他に, チューター制(1チューターに生徒平均6.7人), 少人数授業(1授業あたり平均8.1人), T・T授業(1週間に平均80時間のT・Tによる授業), 33種類の各種検定を卒業単位に加算していることが特徴として挙げられる。</p>
東松島	<p>①教育課程は大学受験から就職まで, 一人一人の様々な進路希望に対応できるように, 約200の講座を開設している。</p> <p>②国語・数学・英語では, 習熟度別学習を行っている授業があり, ほとんどの授業では少人数で行われている。</p> <p>③夏季休業中には, プロの劇団「東京演劇アンサンブル」の指導による演劇特別授業や石巻専修大学との高大接研究事業も行っている。</p>

(教育企画室調べ)